

努力賞

まじよののろいのアメ

荒川区立尾久第六小学校二年

三浦 佳那

やなぎ田先生こんにちは。

この本をえらんだりゆうはさいしよのほうのページに「わる口を十こ」と言っていてどんなわる口か、わる口を言ったあとどうなるかふしぎだったからです。

サキという女の子がおねえちゃんのわる口を十こ言いながらまぜると、にがくてすっぱくてまじよいあめをま女からもらいました。そのあめをなめるときぜつしてしまいます。サキはわる口を二十こや三十こ言えそうだったけど、おねえちゃんのやさしいところもあってなかなか思いつかなくな

りました。でもさい後は十こ言えてのろいのあめができました。

心にのこったところは、サキがさいしよはおねえちゃんのことのがきらいだったけどおねえちゃんのいいところにも気づいてたべてほしくないと思っただけなかつたところなんです。

わたしにも妹がいます。けんかしたりします。でもま女からもらってもたべさせません。りゆうは、けんかもするけど本当にきらいじゃないから、のませたくありません。それとしらない人からものをもらったらだめなので、ま女でももらったらだめだと思います。それと、のろいのあめを作れるま女はいるか気になりました。妹にあめをたべさせられないようになかよくしたいです。

やなぎ田先生はのろいのあめが本当にあつたら、

たべさせたい人は、いますか？ いたとしても、
その人のいいところを思い出して下さい。とても
おもしろい本なので先生も読んでみて下さい。わ
たしはおもしろくてなん回も読みました。妹に読
んであげたいです。